



1



2



3

4



5

Watching Carefully

取材・文/トリアウト 撮影/須藤和也

Be fine Anniversary Hair-Show 「Modern-garde」 @新風館Re-Cue Hall

たった一つのヘアサロンが与える影響力とはいかなるものなのか。今宵、その力を痛烈に思い知ることとなった。新風館Re-Cue Hallの前、そしてグルリと囲む回廊に集まった500、いや600人以上のギャラリーが酔いしれ、リスベクツした、市内に4店舗を構える実力派サロン「Be fine」15周年のヘアショー。そこにはたった一つのコンセプトがあった。現代感覚Modern+前衛的Abangarde=Modern-garde。ヘア業界に漂む「凡」へのアンチテーゼは「他よりちょっとでも先行かんと、なんも変わらないからね」と語るスタイリスト石渡氏の一言に集約されているといっても過言ではない。ゆえに、4つのテーマに彩られた4ステージは、過去を振り返らない、「前進あるのみ」のスタッフ一同気合のコンセプトの現れ。そのパワーにギャラリーはノックアウトされたわけだ。京の雅と融合したオープニング「Modern-Garde ANITHEM」にはじまり、音楽シーンとヘアの関係性を示す「Street Hair Collection」、トップスタイリスト4人が四人四色のスタイルを演舞する「THE SECRET 4 COLORS」、パンキッシュ&エキゾチックなダンス×ヘアでギャラリーを特異な世界観に引き込んだ「Tribal Punks vs Exotics」、そして最後は書道家・田中氏の豪快な書体と近未来的ヘアとのミクスチャー「DRAW THE NATURE'N FUTURE」。Be fine次世代ヘアのオンパレードに、サロン顧客の女のこも、よそサロンのスタッフも、買い物に来ていたカップルともども、否応なしに「美」の意識を改めさせられたことは間違いない。グランドフィナーレ「Reach For The Sun」のスタンディングオベーションは、15周年だけではなく、Be fineの新たな決意表明にこそ向けられたのだった。



1. オープニング「Modern-Garde ANITHEM」ではBe fineがリスベクトする京都の音と前衛的な世界観をヘアスタイルと踊りで具現 2. ポップス、ロック、テクノ... '60~'80年代の音とともにストリートヘアスタイルを鮮やかに見せた「Street Hair Collection」 3. 数々の受賞歴を持つBe fineが誇るトップスタイリスト4人が繰り広げる実演ヘアショー「THE SECRET 4 COLORS」 4. パンキッシュな4人の女性ダンサーとエキゾチックな2人の男性ダンサーに間違いなくギャラリーは引き込まれた「Tribal Punks vs Exotics」 5. Be fine総帥・藤本氏の挨拶とともに幕を下ろしたグランドフィナーレ「Reach For The Sun」に会場の拍手は鳴りやまない 6. 「Tribal Punks vs Exotics」でダイナミックなダンスを見せてくれたヒロ(左) & コーク。取材陣のお褒めの言葉に「どうもっす！」 7. この年齢ではやくもBe fine通い。モデルポーズもバッチリな丈くん(5)。どうだった？「かっちょいーでしゅー」 8. 「藤本さんの後輩なんです」と語るアフロさん。今宵のヘアショーに一言、「誰もが楽しめるヘアショーに感謝っ」 9. オープニング「Modern-Garde ANITHEM」で登場したモデル・田中麻代さん。幅まじげな視線とポーズに男性陣は釘付けでした！ 10. 中庭にてブレイク中のマサミ(右) & カズミ(左)は「ジュール」のスタイリストさん。「私たちもここまでやりたいですっ」 11. 「華麗なダンスにやられた〜」マイ(左) & マユミ(右)。「かつてないヘアスタイルを京都から！」これがBe fineへの要望だっ 12. 「もう！(怒)遅れて来ないでよ！」自称ヘアに興味ナシ!?の彼氏ヒロさんにツッコミを入れるママさん。「すんごいショーやったのに〜!!」 13. トップスタイリストの一人、鴨川さんがご晶風なモリジユン(右) & ヒロ(左)。彼女たちの黄色い声援は届いていますか？鴨川さん？ 14. 「一歩前に進んだサロンスタイル、ちょいと「前す」センスが僕らの提案=Modern-garde」と語るBe fineスタイリスト石渡さん

